

	45	名 称	区分	コード	名 称
事業名	860	公民館事業経費	会計	01	一般会計
			款	10	教育費
			項	05	社会教育費
基本 施策	33	だれもが生きがいを持てる機会をつくる	目	05	公民館費
			細目	444	公民館活動経費
行革大綱の重点事項番号			細々目	51	公民館事業経費
担当部課	コード	451600	担当者	連絡先	
	名 称	教育委員会 阿山公民館	氏 名		
			中井日出男	(内線) 43-0154	

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	阿山管内の生涯学習に関心のある市民	※対象件数
成果(どうする)	誰もがいつでも生涯学習に取り組むことができ、講座などの生涯学習の場に参加し、実践することができる。	
根拠法令・要綱等		
開始年度	平成	年度
終了年度	平成	年度
H22 事業内 容	・公民館教室①(楽がきくらぶ)②(こどもちゃれんじ教室)③チャレンジバンド④(すえひろ学級)及び講座(パソコン講習会)の開催 ・各種サークル活動団体に対する支援 ・その他公民館事業(①あやま展覧会②あやま芸能交流会)の実施 ・公民館図書室で「読み聞かせの会」の開催	
社会情勢 の変化等	・公民館教室の1教室であった歴史探訪教室は、平成20年度からサークル活動へ移行した。残りの4教室は、すべて子どもと高齢者が対象の教室となった。	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積 (延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の 類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動 指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H21	H22	H23	H24
			目標	実績	目標	実績
阿山公民館教室延べ開催数	回	回	45	45	45	45
			21	21	21	21
			21	21	21	21

成果 指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H21	H22	H23	H24
				目標	実績	目標	実績
各種教室の参加者数	公民館教室の参加者数により生涯学習の普及効果を推測できる。	人	150	139	150	150	150
			10,000	9,336	10,000	9,300	9,300
			10,000	9,336	10,000	9,300	9,300

投入 コスト	直接事業費計 (A)	H21 決算	H22 決算	H23 当初予算	H24 当初要求
		(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
		1,753	1,558	1,452	1,482
A の 財源内 訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他	0	0	0	0
	一般財源	1,753	1,558	1,452	1,482
事業投入人件費 (B)	0.8 人	5,760	0.8 人	5,760	0.8 人
	フルコスト(A)+(B)	7,513	7,318	7,212	7,242

事務事業の評価(Check)

必要性	判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業		
	個人の力だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業		
必要性	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	○	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業		
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業		
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業		
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業		
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業		
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	○	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業		
	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
	【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
有効性	財政状況を考慮し、事業を休止した場合、市民生活への影響が大きい事業		【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】
	【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
達成度	当初設定した計画を	80%以上100%未満	【計画に遅れが生じている場合、改善策】
	予算の繰越の有無	無	
効率性	生涯学習を通じて「楽しい出逢い」「仲間づくり」が出来るよう公民館活動を更に推進する		
	生涯学習を通じて「楽しい出逢い」「仲間づくり」が出来るよう公民館活動を更に推進する		
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。		
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。		
効率性	【事業名】		
	受益者負担を求めることができる事業である。	○	
効率性	全体コストにおける負担構成は適正である。	○	
	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。		

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	すえひろ学級・・・男女共同参画の観点から、男性向け講座を多く開催する。 チャレンジバンド・・・楽器の数だけの定員にする。 25名を20名に変更 こどもちゃれんじ教室・・・定員を50名 楽がきくらぶ(未就学児親子)・・・親子30組
昨年度の 取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる 【詳細】 事業効果のある公民館教室にするため、身近な講師等地域の情報収集や色々工夫して、参加者の増員を図った。あやま文化協会と阿山公民館の共催で、「あやま展覧会」と「あやま芸能交流会」を開催し公民館サークルの展示部門と芸能部門の発表の場、活躍の場を提供して生涯学習への機運を盛り上げ意欲を向上させた。

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	中井 日出男
事業の方向性	【方向性】 現状維持
	【理由】 成果指標の傾向から見ても、事業成果上がっていると考えられる。阿山公民館教室の特徴として、子どもや親子の教室が多い展開から阿山管内からの参加者が年々多くなっている(上野地区)。特に「こどもちゃれんじ教室」は小学1～6年の異年齢集団の教室で小学校の授業にはないユニークな内容で、各種団体の講師の皆さんに依頼して、また、阿山青少年育成指導者にスタッフとして指導補助を願い、地域の力を有効的に活用して運営していることはすばらしいことであり、今後も現状で推進して行きたい。
現時点における課題、その他	すえひろ学級(高齢者)の男性参加者がいない。 小学生チャレンジバンド(4年以上の吹奏楽団)の参加者が年により、差がある。 こどもちゃれんじ教室の年間参加申込者が多く、22年度から定員を50名に設定し、定員で締切ったがその後も多く申し込みがあった。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	魅力ある教室開催のため、情報収集と工夫を凝らし、参加者の増員を図る。あやま文化協会と地区公民館の共催事業である「あやま展覧会」と「あやま芸能交流会」は、継続開催の要望が大きいので、今後も引き続き開催する。